

## チムとゆうかなせんちょうさん

エドワード・アーディゾーニ 作  
せたていじ 訳



福音館書店 2001年(初版1963年) 1300円

船乗りになりたくてたまらない男の子チムは、汽船に密航し、そこで楽しく働きます。しかし、船は嵐にあい、チムは沈む船に船長と一緒に取り残されてしまいます。「なくんじゃない。いさましくしろよ。わたちはうみのもくずと きえるんじゃ。なみだなんかは やくにたたんぞ」。長く読みつがれてきた幼年海洋文学の傑作。ペン画と水彩画が交互になっている絵は迫力があります。シリーズは「チムとルーシーとかいぞく」など全11冊です。

## つきのぼうや

イブ・スバング・オルセン 作・絵  
やまのうちきよこ 訳



福音館書店 1975年 1000円

池にうつった自分の姿を見たおつきさまは、つきのぼうやに、地上のおつきさまをさがしてくるように、言いつけます。つきのぼうやは、かごをさげて、空からどんどんおりていきます。つきのぼうやがおつきさまに、持ってきたものは…。細長い縦長の判型が、高い空から海までの空間を強調し、つきのぼうやの冒険が、上から下へ描かれています。空の青色を基調とした、明るい絵のデンマークの絵本です。

## どうながのプレッツェル

マーグレット・レイ 文  
H. A. レイ 絵

わたなべしげお 訳

福音館書店 1978年 1100円



プレッツェルは、ドッグショーで優勝するほど胴長のダックスフンドです。ところが大好きなグレッタには嫌われています。ある日プレッツェルは、あなに落ちたグレッタを、ながい胴をつかって助け、2匹はめでたく結婚します。プレッツェルの胴長ぶりが、明るい色のユーモラスな絵で楽しめる絵本です。5匹のこいぬがうまれるところではじまり、終わる話は、しゃれた味わいがあります。